

製品名: A4GAT ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06371**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	38kDa

抗原情報

遺伝子名	A4GALT A14GALT A4GALT1
別名	
遺伝子 ID	53947.0
SwissProt ID	Q9NPC4
免疫原	ヒトタンパク質の一部領域から得られた合成ペプチド

背景

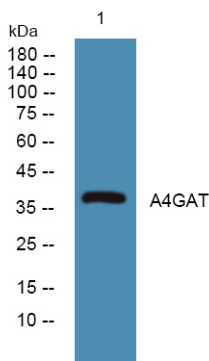
α 1,4-ガラクトシルトランスフェラーゼ (A4GALT) ホモ・サピエンス この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ガラクトースをラクトシルセラミドへ転移させ、グロボトリアオシルセラミドを生成する反応を触媒します。グロボトリアオシルセラミドは、P型

血液型システムの P(k) 抗原として同定されています。このタンパク質はゴルジ体に存在する II 型膜タンパク質であり、細菌性ペロ毒素受容体の合成にも必須です。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つっています。 [RefSeq 提供、2015 年 12 月]、触媒活性: UDP-ガラクトース + β -D-ガラクトシル-(1 \rightarrow 4)-D-グルコシル-(1 \rightarrow 1)-セラミド = UDP + α -D-ガラクトシル-(1 \rightarrow 4)- β -D-ガラクトシル-(1 \rightarrow 4)-D-グルコシル-(1 \rightarrow 1)-セラミド。、ドメイン: 保存された DXD モチーフは酵素活性に参与する。、機能: 血液組織型 P の Pk 抗原の生合成に必要。ガラクトースからラクトシルセラミドおよびガラクトシルセラミドへの転移を触媒する。細菌性ペロ毒素の受容体の合成に必要。、オンライン情報: GlycoGene データベース、オンライン情報: ラクトシルセラミド 4- α -ガラクトシルトランスフェラーゼ、経路: タンパク質修飾; タンパク質の糖化。、多型性: P 血液型抗原の異なる組み合わせ、または欠如によって、5 つの異なる表現型 (P1、P2、P1(k)、P2(k)、p) が定義されます。A4GALT の遺伝的変異によって p 表現型が決定されます。p 表現型はまれであり、抗原を発現しません。これはヌル表現型とも呼ばれ、p 型の人は血清中に P、P1、Pk 抗原に対する抗体を持っています。これらの抗体は、重篤な輸血反応や流産を引き起こす可能性があるため、臨床的に重要です。、類似性: グリコシルトランスフェラーゼ 32 ファミリーに属します。、組織特異性: 普遍的に存在し、腎臓、心臓、脾臓、肝臓、精巣、胎盤で高発現しています。、

研究分野

スフィンゴ糖脂質の生合成;

画像データ



DU145 細胞溶解液のウェスタンブロット分析、A4GAT ウサギポリクローナル抗体を 1:1000 に希釈し、4°で一晩